

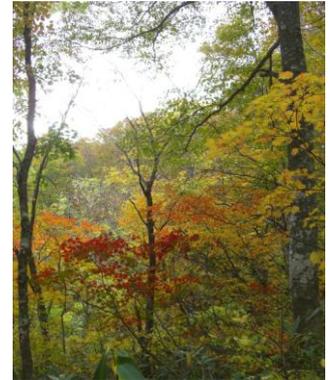
雄国沼湿原利用調査

雄国せせらぎ探勝路の紅葉 10月24日

秋の探勝路周辺は標高差によって植物層の違いも見ることが出来る。

カエデなどの落葉広葉樹も一斉に彩りを変えハイカーを魅惑の世界にいざなう。

又、ブナ林帯も一面黄葉し趣きを変えて高原の秋を楽しませてくれる。



↑ 湿原の草紅葉

↑ 木道下の落し物

この時期になるとハイカーの姿も少なく殺伐とした風景となる。

下の浜辺は工事廃材のアンカーボート等が見つかった所だが、現物は回収されていた。



【ガイド活動から見えるもの】

雄国沼湿原・雄国山はアクセスも良く自然体験学習には大変人気の高い所。

喜多方市駒形小学校(1～6年・65名)

10月9日

自然観察

塩川町からマイクロバスで金沢峠駐車場下車

雄国沼湿原一周し休憩舎で昼食

午後のプログラム風景

金沢峠より帰路へ



いわき市立植田小学校(5年・113名)

10月25日

八方台～猫魔ヶ岳登山

猫魔ヶ岳・猫石を経てようやく百間土手に到着

休憩舎で昼食・休憩後、雄子沢駐車場へ下山

(雄国湿原には入らなかった)



1) 学校関係の団体は予め必要な事前研修を行なって来る様で、先生も細かな現場指導を行なってくれる
しかし、学校の風土・指導環境の違いか行動規範には大きな差が見られる。

一方、一般客の山歩きグループはリーダー格の目配り・気配りが確りしている様だ。

2) 休憩舎周辺で休憩・昼食を取る事が多く見受けられますが、以外に大きなゴミが目につきます。
ゴミを放置する人たちは、どの様な客層か特定する事は出来ませんでした。ほんの一部にモラルに欠ける人が居るようです。

学校関係団体は昼食に百間土手を使用する事が多いが比較的きれいに利用されている。

3) 湿原の木道数か所に休憩広場が出来ています。15名位は休む事が出来、足を止めて説明をしたい
がシートを広げたりして優雅に弁当を食べているグループが見られる。

4) 休憩舎は多くの人々に利用されているが、トイレの汚れがひどく評判が悪い、又周囲の芝生も十分な
管理が行き届かず踏み込みしない様指導するが説得力が無い(ロープも切れ踏み込みも可なのか?)